

科目名	工業情報処理A			学年	類型・コース	単位数
				2年	自由選択1・工業	2単位
学習の目標	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通じて、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。					
教科書	主たる教材：全商情報処理検定テキスト3級3訂版（実教出版）					
副教材	副教材：なし					
評価	評価法	定期考査、小テスト、検定試験、作品提出、授業の理解度・取り組み方・意欲で評価します。				
	評価観点の趣旨	a	知識・技術	コンピュータに関する内容を理解し、表やグラフを作成する能力(計算式等)が十分に身についているか確認します。		
		b	思考・判断・表現	情報に関するリテラシーを理解し、判断する力が身についているか、表計算ソフトを使って正確に作品ができるか評価します。		
		c	主体的に学習に取り組む態度	学科問題や実技問題に対しての作品作り、授業に取り組む姿勢等主体的に取り組んでいるかを評価します。		
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5の5段階）にまとめます。					

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4月	6	文書の入力	3級の検定試験に向け、ワープロ関連知識について学習する。	中間考査	中間考査	作品制作 課題
	5月	8	文書の入力	OSの機能、ハードウェアについて学習する。中間考査と解答。			
	6月	8	文書の入力	ソフトウェア、周辺機器について学習する。	小テスト	作品制作	ファイル
	7月	4	図形の作成	期末考査と解答。計算式の理解について学習する。情報モラル。1学期のまとめと振り返り。	期末考査	期末考査	振り返り
夏休み							
2学期	9月	8	図形の作成	ネットワーク、セキュリティの基礎知識について学習する。	中間考査	中間考査	作品制作 課題
	10月	8	検定文書の作成	中間考査と解答。ハード・ソフトウェア。			
	11月	8	検定文書の作成	ネットワークとマルチメディアについて学習する。	小テスト	作品制作	ファイル
	12月	4	検定対策	期末考査と解答。まとめと振り返り。	期末考査	期末考査	振り返り
冬休み							
3学期	1月	6	コンピュータリテラシー	ネットワークの構成活用。権利の保護と管理。	小テスト	作品制作	作品制作 課題 ファイル
	2月	6	コンピュータリテラシー	情報教育でのモラルや道徳について学習する。			
	3月	4	まとめ	学年末考査と解答、まとめを行う。3学期の振り返り。	期末考査	期末考査	振り返り

担当者からのメッセージ（学習方法など）

1学期は9月に実施する情報処理検定3級取得を、2学期は1月に実施する情報処理検定2級取得を目指して学習していきます。実技試験は時間内に正しく操作できるか、学科試験はコンピュータの基礎知識を学び、しっかり理解できるように問題を解いて学習していきます。